

科目名	担当教員名	学期
国際会計 International Accounting	井上 寅喜	前期
目的	以前のビジネスアカウンティングⅡに相当する科目で、国際財務報告基準（IFRS）及び日米の会計基準及び実務について、その基本をよく理解し今後の展開あるいは課題についての洞察力を養うことを目的とする。	
概要	本講座は、単なる IFRS の解説に留まらず、日本及び米国の会計基準に基づく会計処理と比較検討することによって、その差異をよく理解するとともに、日本の IFRS 適用を巡る今後の会計実務の理解に役立つ内容とする。	
到達目標	IFRS の基本を理解し、今後、日本企業が作成を求められる可能性がある IFRS 基準による連結財務諸表の作成、及びそれを正しく理解できる人材の育成を目標とする。	
成績評価の基準と方法	基本的には、理解度チェック（中間と期末の2回—合計50点）並びに出席率（20点）及びディスカッションへの積極的参加（30点）を基に評価し、100点満点で素点を計算する。この素点が60点以上の学生を合格者とし、相対評価比率に合致するように、素点順にA、B、C、Dの評価を決定する。不合格者（E評価）は、素点ベースで60点未満の者とする。	
履修条件	「財務会計概論」の履修者、かつ、日商等の簿記2級相当の知識を有していることが望まれる。	
<b>授業計画</b>		
第1週	国際的なコンバージェンスの動向 IFRS とは何か ・ IFRS をめぐる組織 ・ IFRS の特徴 ・ IFRS の日本における位置づけ	
第2週	概念フレームワーク ・ 財務報告とその目的 ・ 財務報告の構成要素とその認識・測定 IFRS の考え方とその背景 ・ 企業価値評価モデルによる考察 ・ 資産負債アプローチと包括利益	
第3週	IFRS による財務諸表 ・ 財政状態計算書、包括利益計算書、資本変動計算書、キャッシュフロー計算書 ・ 会計方針等	
第4週	棚卸資産 ・ 当初認識および測定 ・ 事後測定 原価計算 ・ 原価計算をめぐる実務上の諸問題	

第 5 週	<p>有形固定資産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当初認識および測定</li> <li>・ 事後測定</li> <li>・ 有形固定資産をめぐる実務上の諸問題</li> </ul> <p>無形固定資産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当初認識および測定</li> <li>・ 事後測定</li> </ul>
第 6 週	<p>固定資産の減損</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 減損損失の認識および測定</li> <li>・ 全社資産に関する減損損失の認識および測定</li> </ul>
第 7 週	<p>リース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リースの分類</li> <li>・ 借手におけるリースの会計処理</li> <li>・ 貸手におけるリースの会計処理</li> <li>・ リースをめぐる最近の動向</li> </ul> <p>投資不動産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当初認識および測定</li> <li>・ 当初認識後の測定（公正価値モデル）</li> </ul>
第 8 週	<p>中間理解度チェック</p> <p>IFRS 適用におけるシステム関連の論点</p>
第 9 週	<p>収益認識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財・サービスの提供</li> <li>・ 工事契約</li> <li>・ 新収益認識基準</li> </ul>
第 10 週	<p>引当金、偶発負債及び偶発資産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引当金の認識</li> <li>・ 引当金の当初測定・事後測定</li> <li>・ 具体的な適用</li> <li>・ 偶発負債及び偶発資産</li> </ul>
第 11 週	<p>退職給付</p> <p>ストックオプション</p>
第 12 週	<p>金融商品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金融資産の認識と測定</li> <li>・ 金融負債の認識と測定</li> <li>・ ヘッジ会計</li> <li>・ 金融商品の認識の中止</li> </ul>
第 13 週	<p>税効果会計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 繰延税金資産および負債の認識</li> <li>・ 税効果の測定</li> </ul> <p>企業結合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業結合に関する会計処理の概要</li> <li>・ 識別可能な取得した資産、引き受けた負債および被取得企業の非支配持分の認識と測定</li> <li>・ のれんの認識および測定</li> </ul>

<p>第 14 週</p>	<p>連結子会社、関連会社、JV</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子会社に対する持分投資</li> <li>・ 関連会社に対する持分投資</li> <li>・ ジョイントアレンジメントの会計処理</li> </ul> <p>事業セグメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業セグメント</li> <li>・ 報告セグメント</li> </ul>
<p>第 15 週</p>	<p>IFRS 初度適用 期末理解度チェック</p>
<p>テキスト 参考書等</p>	<p>【テキスト】 特になし。 講義の都度、講義資料を配布。</p> <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『2017 IFRS, Official pronouncements at 1 January 2017』 IASB 又はその 2016 年度版の翻訳本</li> </ul>
<p>その他 特記事項</p>	